

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>効率的な製造ラインシステムの開発</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>社会福祉法人名古屋ライトハウス明和寮</p>
<p>研究の概要</p>	<p>今回対象となる施設は、障害者の就労支援作業所であり、障害者総合支援法を根拠として就労継続支援を行う事業所ある。一般の企業・公益法人などの団体に就職することが困難な障害者に提供される仕事の場であり、雇用契約を結ばずに、自分らしく働く就労継続支援事業B型事業を展開しており、印刷作業、各種アSEMBリ作業などさまざまな職種がある。</p> <p>しかし、この事業を実施するうえでいくつかの問題が生じている。その一つとして製品出荷における収入についてである。就労継続支援B型事業であるため、就労している障害者に給料を支払う必要がある。しかし障害者による作業のため、生産能力が低く出荷における収入が少ない。障害者に安定的な給与を支払うため、製品出荷を増加させる必要がある。そのため作業効率をあげる製造機器の導入が必要である。また、使用している機器が老朽化しているものもあり、市販品としてはほとんど市場に無いため、現在の使用感を残した機器の開発も必要となっている。</p> <p>本共同研究において、製造補助装置等を付加することにより効率的な製造ラインシステムを構築して、生産能力を向上させることを目的とした。今年度は、複数（5種類）ある作業の中から対象となる作業を選定し、製造補助装置の概要を決定して、その製作するシステムの企画を行うこととした。</p> <p>対象物と検査装置の検討</p> <p>(1) 対象作業の決定：老朽化したスライドブリスター製造機の新規開発</p> <p>(2) 製作装置：スライドブリスター製造機 作業場所に設置できるよう省スペースタイプのスライドブリスター装置を製作する。また、障害者の就職支援を損なわないようにする。操作対象者が障害者を意識したユニバーサルデザインとする。メンテナンスが容易にできる構造とする。</p> <p>(3) 概要設計：老朽化した装置（一部不動）を詳細に分析し、新たに作成する機器の概要を検討した。</p> <div data-bbox="480 1541 1350 1910">  </div> <p>詳細仕様書等については、次年度製作するスライドブリスター装置を行うところで作成することとした。</p>